

平成3年商業統計調査の結果の概要

1 概況

平成3年7月1日現在における本県の商店数は30,537店、従業者数は141,560人、年間商品販売額は4兆7,152億円となった。これを前回調査と比較すると、商店数は223店(0.7%)、年間商品販売額は8,166億(20.9%)それぞれ増加したが、従業者数は302人(0.2%)減少した。(表1参照)

また、今回の調査で商店数をもっとも多かった産業は酒・調味料小売業で、婦人・子供服小売業がこれに続いている。一方、年間商品販売額をもっとも大きかった産業は自動車小売業で、一般機械器具卸売業がこれに続いている。

さらに、12年前(昭和54年調査)と比較すると商店数は1.06倍、従業者数は1.18倍、年間商品販売額は2.06倍にそれぞれなっている。

表1 商店数、従業者数、年間商品販売額

	商店数				従業者数				年間販売額			
	実数		構成比(%)	対前回比(%)	実数		構成比(%)	対前回比(%)	実数		構成比(%)	対前回比(%)
	昭和63年(店)	平成3年(店)			昭和63年(人)	平成3年(人)			昭和63年(百万円)	平成3年(百万円)		
合計	30,314	30,537	100.0	100.7	141,862	141,560	100.0	99.8	3,898,572	4,715,181	100.0	120.9
卸売業	5,195	5,486	18.0	105.6	41,349	43,077	30.4	104.2	2,317,308	2,723,693	57.8	117.5
小売業	25,119	25,051	82.0	99.7	100,513	98,483	69.6	98.0	1,581,265	1,991,488	42.2	125.9

図1 商店数、従業者数、年間商品販売額の推移 (昭和54年=100)

